



もうすぐリニューアル! 松阪市市民活動情報サイト活用のススメ

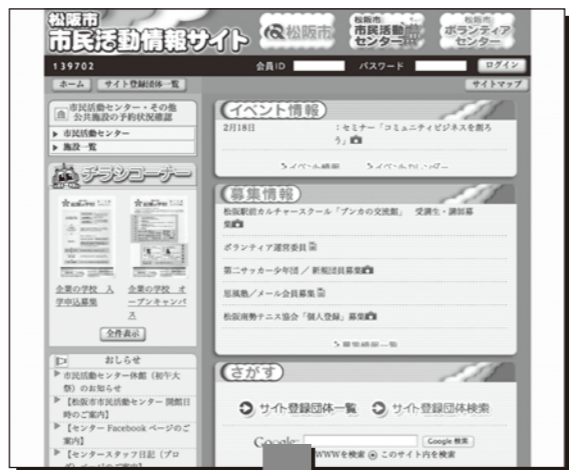
市民活動の理解者を増やすためにも活発な情報発信は大切です。「松阪市市民活動情報サイト」は普通のホームページやブログと同じく「検索サイトで検索可能な“団体ページ”」を持つことができます。流行のFacebookやTwitterは検索サイトに情報が表示されにくい性質があるので、それを補うためにも団体独自のページを持つことはとても有効です。

なぜ改めて情報サイトについてご説明したかという点、実は…

この度、「松阪市市民活動情報サイト」がリニューアルします。これに伴い、新規/既存ともに当センターの登録団体は“自動的に情報サイトに団体ページを持てる”こととなります。ログインに必要な「ID」と「パスワード」は、データの入力が整い次第、順次発行いたします。すぐに情報サイトの団体ページをご利用希望の方はお申し出ください。速やかに対応させていただきます。すでに情報サイトにご登録いただいている団体につきましても、情報修正が必要な場合がございます。その際は改めてご連絡申し上げます。「松阪市市民活動情報サイト」を活用して団体の活動をどんどんアピールしましょう!



自宅にパソコンがない団体は当センターのラウンジのパソコンをご利用ください。



こんな感じにリニューアル!?



センターからのお知らせ

◎初午大祭 休館のお知らせ ▶ 3月11日(火)・12日(水)
※会議室のご予約もできません。予めご了承ください。

ちょこつと編集後記

最近、県内各地で「広報」にまつわる講座をさせていただく機会が増えました。この紙面も参考になれば幸いです。[S]

松阪発信! 市民活動の情報紙 アロマ 次号は2014年4月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。次回の原稿締切は2014/3/31(月)です。担当/澤

松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜～土曜日/10:00～22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801 ◀予約専用 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用	会議室	機材等
	大会議室……机10 椅子30 (600円) 小会議室1…机4 椅子12 (150円) 小会議室2…机6 椅子18 (200円) 小会議室3…机4 椅子12 (150円) 料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。外会議室……机8 椅子24 (400円)	印刷機(紙持込) / コピー機 マイク/プロジェクター 他 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ
http://www.katsudou.com
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/



AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜～土曜日/10:00～22:00
(予約専用)
TEL 0598-25-3801
0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

～アロマ～ No.51

ちょっと気になる 編集者“E”の団体

今号は… 保存活動グループ <ーべる> さんです

中 部台運動公園に保存されている一台の機関車。松阪市民なら一度は目にしたことがあるのではないだろうか。この機関車の修復・維持活動に取り組むのが「保存活動グループ <ーべる>」だ。「現役に近い姿で次世代に残していきたい」と語るの代表・杉山牧夫(すぎやま・まきお)さん。同団体がこの活動を行うまでにはある物語があった。



藤島さん 江本さん 代表:杉山さん 辻田さん

HP【くろすけくん起きなさい!】
http://www.geocities.jp/c58_51/

昭和40年代、国鉄(現JR)は近代化を掲げて電化・ディーゼル化を推進し、それまで活躍した蒸気機関車はどんどん廃止されていった。そんななか、昭和46年、市内の小学校6年生の少年が当時の市長宛てに手紙を書いた。『何十年後に松阪で暮らす人に、松阪で蒸気機関車が走っていたことを伝えたい』。少年の願いは早く叶い、同年、亀山機関区で廃車となったC58型51号機が松阪市に寄贈されることになった。市民公募で「くろすけ」と愛称が付けられ、松阪公園に保存された。中学生になった少年は、毎日のように清掃や整備に訪れたが、進学とともに故郷を離れてしまう。その後、くろすけは平成3年に中部台運動公園に移設された。かつての「少年」が再びくろすけを訪れたのは、平成21年のことだった。しかし、彼が見たのは、風雨にさらされて車体は痛み、運転席のメーターは割られ、汽笛は盗まれるなど、かつてとかけ離れた姿。「もう一度、本来の姿に」という一心で、彼は市から許可を得て、ボランティアで修復活動を始めた。それが杉山さんだ。

を込めて杉山さんが名付け、地元の世話役は松阪に住む辻田隆幸(つじた・たかゆき)さんが担うことになった。

現在の活動の中心は、ほぼ月1回、週末に集まって行うくろすけの修復・維持活動だ。メンバーには、本業で室内装飾業、表具店、材木店を営む手先が器用な人がおり、それぞれの技術や知識、アイデアを生かして活動に取り組んでいる。メーターの取り付けや、汽笛やライトの自作・設置など、すべてが私費。コストは抑えつつ妥協しない心意気は職人肌のメンバーならではの。

活動5年目を迎え、現役に近い状態で一般公開される機関車としては全国でも珍しく、関東や四国からも見学者が訪れるほどになった。しかし「作業にゴールはありません。維持するためには、若い世代へつなぐことが大きな課題」と杉山さんは語る。三重高校鉄道研究部が作業に加わることもあるが、進学で故郷を離れる生徒も多い。まずは子どもたちに機関車の魅力を知ってもらおうと、訪れた子どもに汽笛をならしてもらう体験も行っている。「『ポーズ』と汽笛がなった時の子どもの笑顔は、私たちのやりがいになります」と杉山さん。同団体の活動日程はホームページで紹介している。力強い汽笛をぜひ子どもたちに聞いてもらいたい。

【問】090-3153-2776 (辻田さん)

東京から月1回、週末に通う杉山さんの活動は、地元新聞で紹介され、藤島春好(ふじしま・はるよし)さんは「地元に住む者も頑張らないと」と作業に加わった。やがて有志5名が集まり「保存活動グループ <ーべる>」を設立。「<ーべる>とは機関車が走る時に石炭を「くべる」という言葉と、松阪にゆかりの深い「ベル」をかけあわせた造語だ。いつか本当に松阪で走ってほしい、という思い

報告

にぎやかに開催! リユースPC寄贈式 & ワードで作るチラシコンテスト表彰式

2/15(土)、アスト津にて「みえ イーパーツ リユースPC寄贈プログラム(※)」の寄贈式が開かれました。三重県全域を対象に市民活動団体のIT支援として実施されるプログラムで、今年度は合計19団体に35台のリユースパソコンが寄贈されました。当センターを窓口にご応募いただいた団体、5団体に6台のパソコンが寄贈されました。



寄贈の様子



当日掲示したチラシに人気投票中



また、「ワードで作るチラシコンテスト」の表彰式も同時開催されました。大賞に四日市市の「大正琴サークルMY夢(マイム)」、優秀賞に東員町の「防災ネットとういん」がそれぞれ選ばれました。他にも交流会では、当日出席した団体の広報物を掲示して人気投票を行いました。人気の高かった順に、各地域の事務局から提供された“地元のお土産”が送られました。



パソコンがなければ市民活動ができないわけではありません。ですが、パソコンを使うことで活動の幅は確実に広がります。来年度もこのプログラムは継続の予定です。まだまだ使える“リユースPC”を市民活動にお役立てください。

今年も当センターの副センター長として参加しました。

【松阪地域の寄贈団体】

- ・朝見まちづくり協議会
- ・NPO法人CTF松阪
- ・機殿まちづくり協議会
- ・祇川壺の里を守る会
- ・松阪南勢テニス協会 (50音順)

※みえ イーパーツ リユースPC 寄贈プログラムとは… 企業で使わなくなったパソコンに再インストールを施し、再び使用できる状態にして市民活動団体に無償(手数料のみ負担)で寄贈するプログラム。再生作業を障がい者の自立支援として福祉施設に依頼しているのも特徴のひとつ。

市民活動用語解説コーナー

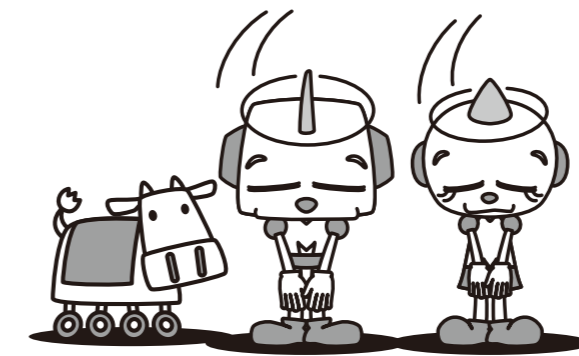
[Vol.9]



市民活動に関する“コトバ”をピックアップして解説していきます。今回のコトバは…

サステナビリティ

サステナビリティは「持続可能性」を意味する英語です。噛み砕いて言えば「将来にわたって良い環境を継続していく」ための概念です。ちなみに、健康や環境やさしい生活スタイルである「LOHAS(ロハス)」は「Lifestyles of Health and “Sustainability”」の略です。ここにも「持続可能性」という言葉が含まれています。より良い社会環境を未来の子どもたちに受け継いでいく“持続可能な社会”のために、組織としても個人としても、私たち一人ひとりが自覚を持ち、考え、行動していかなければならないということですね。



「第8回 松阪まちなか お雛さま祭り」に、今年も当センターは参加します。今年も当センターのキャラクター“マツハくん”と“ミライちゃん”がお雛さまの衣装で皆さまをお出迎えます。

第8回 松阪まちなか お雛さま祭り

期間：平成26年2月15日(土)～3月3日(月)
主催：ミズ・ネットワーク松阪



スタッフと一緒に折り紙でひな人形をつくらう!

そして、今年は更に…

「スタッフと一緒に折り紙でひな人形をつくらう!」という“ゆるやか企画”を開催します。申込不要、参加無料で楽しんでもらえるゆる～い企画です^^ 作ったひな人形はセンター内に飾ります。集まっていた皆さんの交流の場にもしたいと考えています。みんなでお雛さま祭りに参加しましょう!

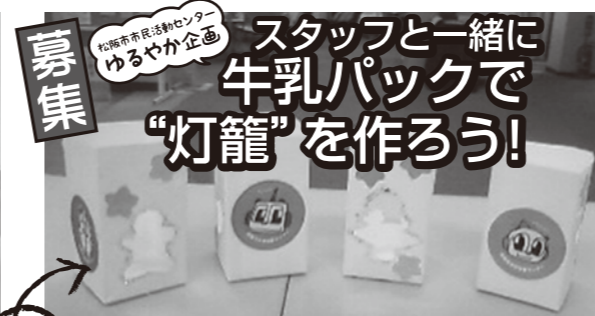
同日開催：2つの“ゆるやか企画”の日程

日時：平成26年2月27日(金) 18:00～20:00

場所：松阪市市民活動センター

費用：無料/申込：不要

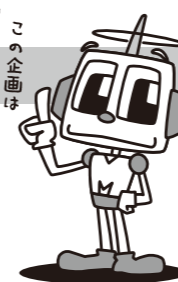
持物：「折り紙」、「洗って乾かした牛乳パック」があればご持参ください。



更に更に…

当センターの登録団体「結(ゆい)」の代表者、大北さんから東日本大震災追悼行事「祈りの灯火2014～想いつないで～」に送る牛乳パック灯籠のお話をお聞きし、当センターも協力させていただきますことになりました。震災で犠牲になられた方々へ追悼の意を込めて行われるイベントです。こちらも持ち物持参の「折り紙ひな人形作り」と同じ日程で実施します。ご都合の良い方はぜひ当センターにお集まりください。

この企画は「おもてなし」を大切にしたいという思いから、ぜひご参加ください。



不要な羽毛製品が仕事を創り、寄付を生かす新しい地域貢献の仕組み

河田フェザー株式会社 多気郡明和町山大津3255 [TEL] 0596-55-2431

羽毛の精製加工に関する国内最大手の河田フェザー(株)では、三重県共同募金会、各地の社会福祉協議会などと連携して羽毛のリサイクル事業に取り組んでいます。2012年より明和町でモデル的に実施し、今年からは「UMOUプロジェクト」として三重県全域で展開しています。この事業のポイントは2つ。1つは、社協で回収された羽毛製品を連携会社が買い取る際に、その金額の一部が地域福祉のために寄付されること。もう1つは、羽毛製品の解体作業などで地元の障がい者の就労支援に貢献していることです。他にも近年高騰が続く羽毛の安定供給、資源をリサイクルすることによるゴミの削減などさまざまな利点があります。同社CSR推進室長の黒田健(くろだ・けん)さんは「松阪でも回収拠点や啓蒙活動に協力いただける企業があれば、ぜひ連携していきたい」と語ります。これからのCSR推進には、地域やセクターを超えた連携も重要です。松阪地域の企業の連携先としても関心が高まりそうですね。

UMOUプロジェクト事務局 TEL: 0596-52-7056 (明和町社会福祉協議会内 担当: 平田)